



水・大地・空気を未来につなぐ

株式会社ミダック

[証券コード：6564]

2020年3月期
決算説明資料

①当社グループの紹介	…P2
②決算内容	…P8
③今後の見通し	…P17
④トピックス	…P22
⑤Appendix	…P25

①当社グループの紹介

②決算内容

③今後の見通し

④トピックス

⑤Appendix

①-1 当社グループの紹介（会社概要）



社名：株式会社ミダック（MIDAC CO.,LTD.）
創業：1952年4月（昭和27年）
資本金：7億5,297万
代表者：代表取締役社長 加藤 恵子
本社：静岡県浜松市東区有玉南町2163番地
従業員：224名^(注)（2020年3月末：グループ連結）
子会社：株式会社ミダックはまな（浜松市西区）
株式会社三晃（愛知県春日井市）

《事業内容》

- 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・処分
- 一般廃棄物の収集運搬・処分

《保有施設》

事業所

- 富士宮事業所（焼却）
- 本社事業所（水処理・収集運搬設備）
- 呉松事業所（破碎）
- 豊橋事業所（混練）
- 関事業所（水処理）

営業所

- 東京営業所（神奈川県川崎市）
- 富士宮営業所（静岡県富士宮市）
- 本社・一般営業所（静岡県浜松市）
- 名古屋営業所（愛知県名古屋市）

①-2 当社グループの紹介 (拠点一覧)

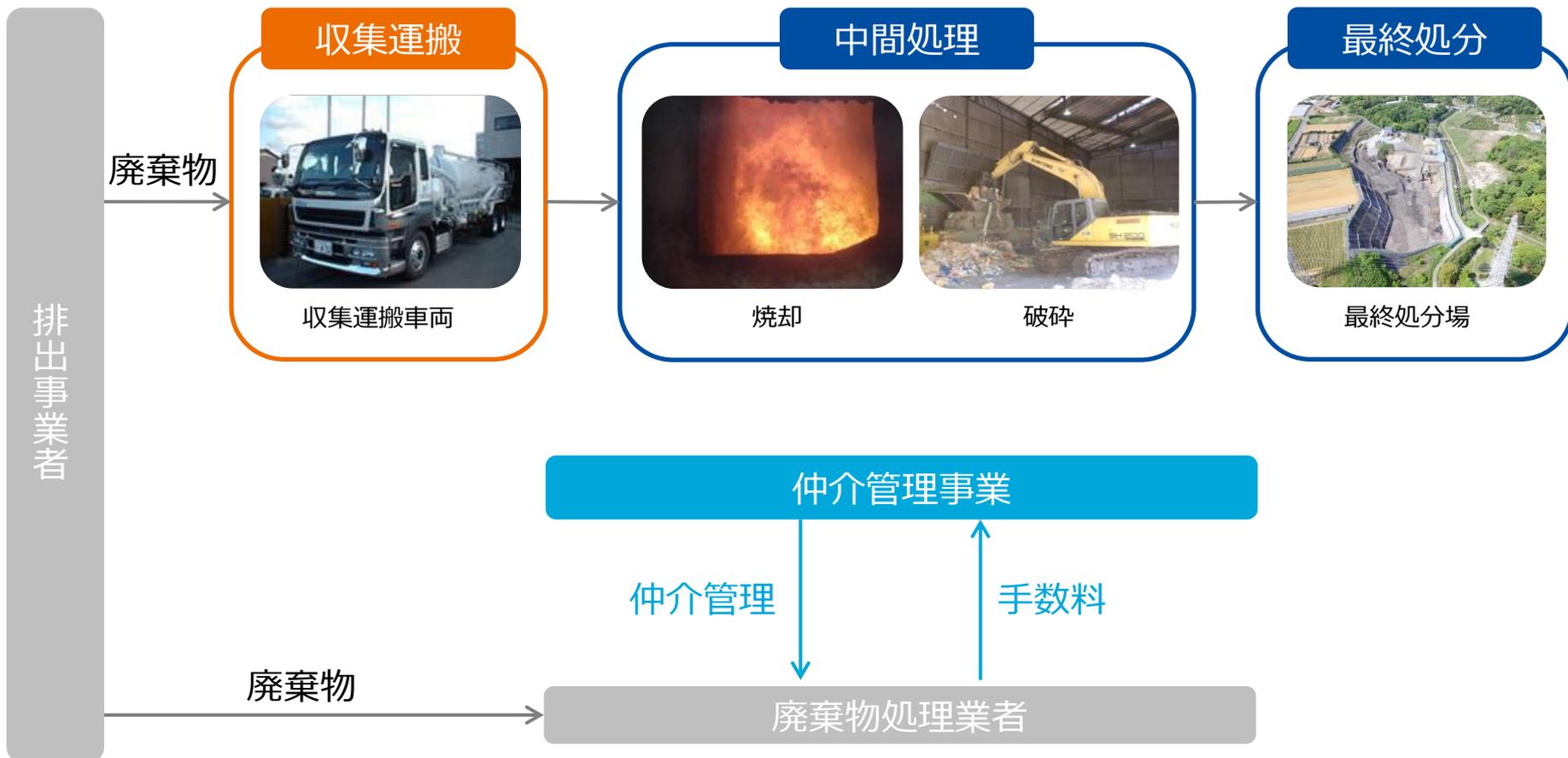


①-3 当社グループの紹介（廃棄物処理の工程）

収集運搬事業

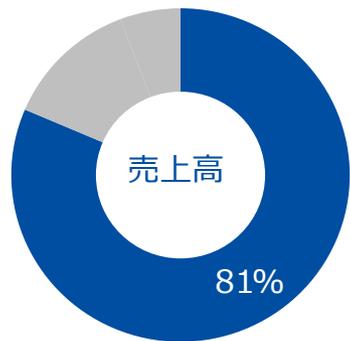
廃棄物処分手業

仲介管理事業



①-4 当社グループの紹介（セグメント一覧）

<廃棄物処分手業> 従業員数81人



- 自社施設による廃棄物処理サービスを提供
- 廃棄物処理サービスとは、中間処理と最終処分から構成
- 当グループの中核事業であり、多種多様な廃棄物を処理できる体制を構築

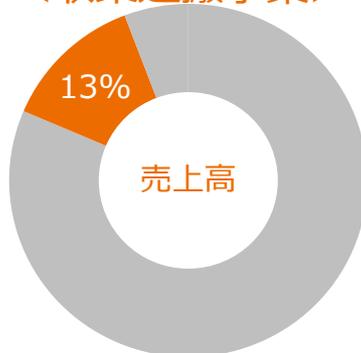


関事業所（水処理）



呉松事業所（破碎）

<収集運搬事業> 従業員数56人



- 廃棄物の収集運搬サービスを提供
- 固形物や廃液まで多様な廃棄物を運搬できるよう、各種車両を完備
- 付随して、清掃業務も受注

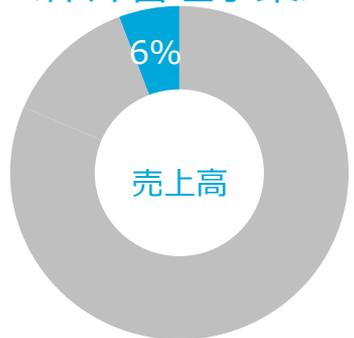


収集運搬車両



清掃業務

<仲介管理事業> 従業員数56人



- 自社以外の処理業者へ顧客の紹介サービスを提供
- 自社処理が困難な廃棄物や、自社の商圏以外の廃棄物に対して、適正な廃棄物処理を提案



富士宮営業所



東京営業所

注:売上高（2020年3月期実績）には内部売上高を含む
注:従業員数は2020年3月末の状況であり、臨時雇用者を含む

①-5 当社グループの紹介（一貫処理体制）

- 同業の多くが収集運搬業のみや中間処理業のみであるのに対し、当社グループは様々な設備を有することで、収集運搬から最終処分までを請け負う一貫とした処理体制を構築



- 排出事業者は廃棄物処理の過程で不適正処理等される心配がなく安心して廃棄物を委託
- グループ内で排出される廃棄物を内製化することで、中間処理施設のコスト削減を実現し、競争力を高める等のシナジー効果を発揮

① 当社グループの紹介

② 決算内容

③ 今後の見通し

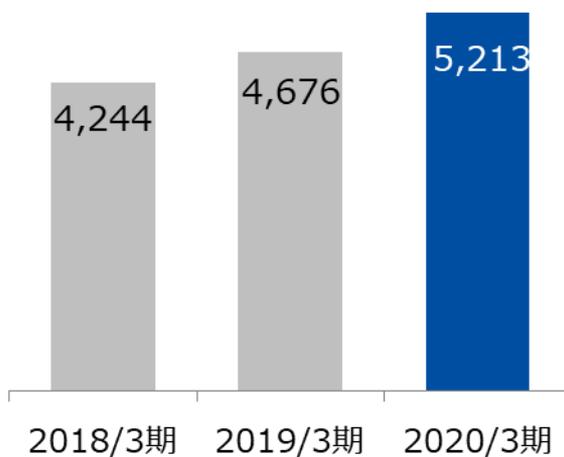
④ トピックス

⑤ Appendix

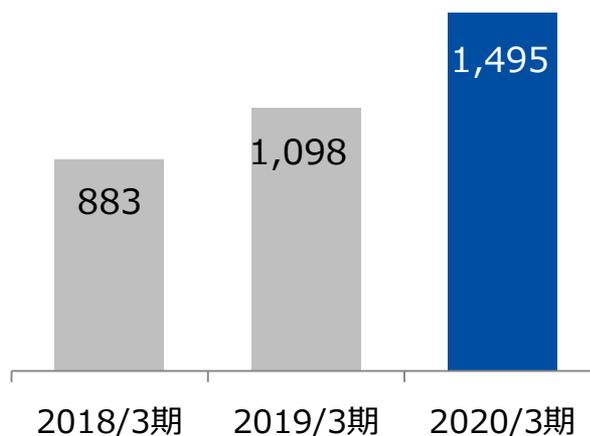
②-1 決算内容（連結業績ハイライト）

- 売上高：**5,213百万円**（対前年+11.5%）
- 営業利益：**1,495百万円**（対前年+36.2%）
- 当期純利益^(注)：**795百万円**（対前年+40.3%）

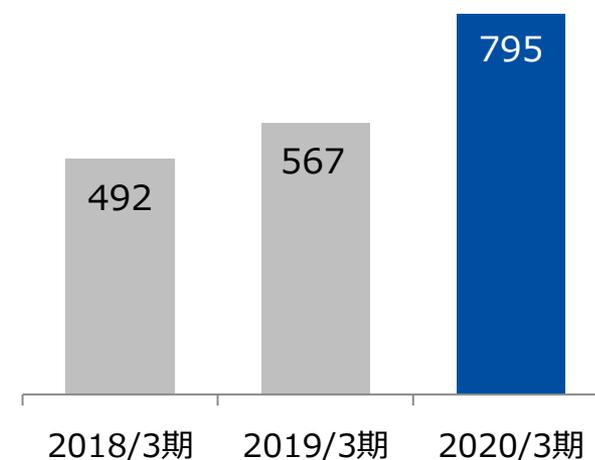
<売上高>



<営業利益>



<当期純利益^(注)>



注:親会社株主に帰属する当期純利益

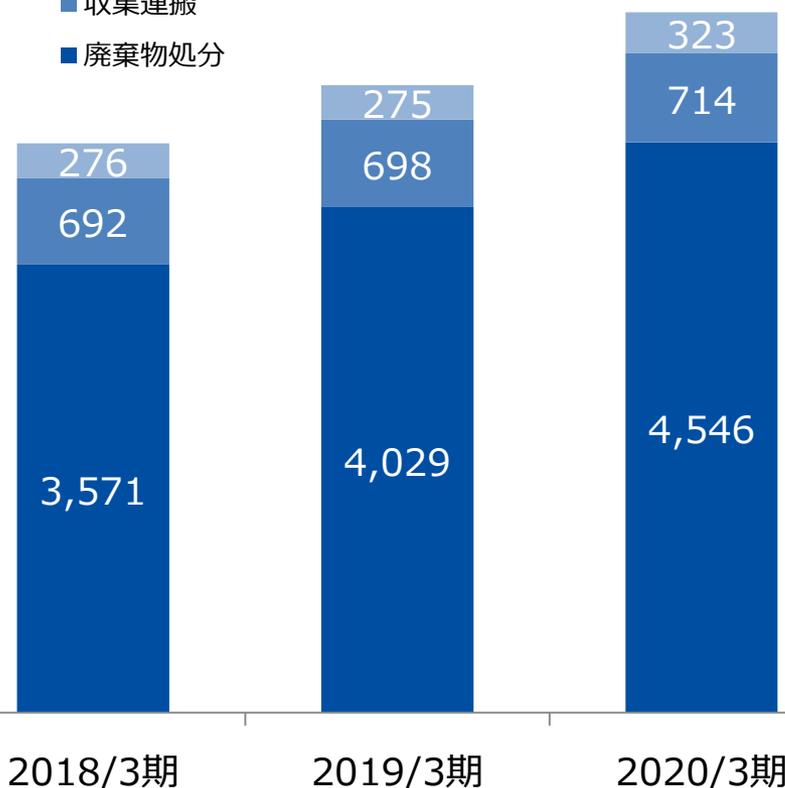
②-2 決算内容（セグメント別分析）

- 廃棄物処理事業、仲介管理事業においては増収・増益を達成
- 収集運搬事業は増収・減益となる

セグメント別売上高^(注)

(単位：百万円)

- 仲介管理
- 収集運搬
- 廃棄物処分

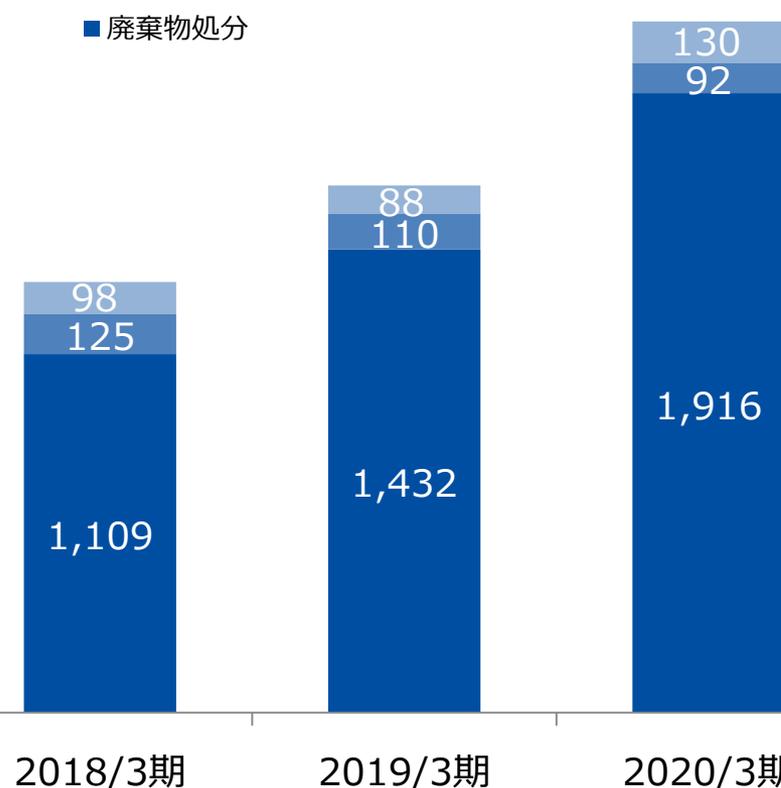


注:内部取引を含む

セグメント利益^(注)

(単位：百万円)

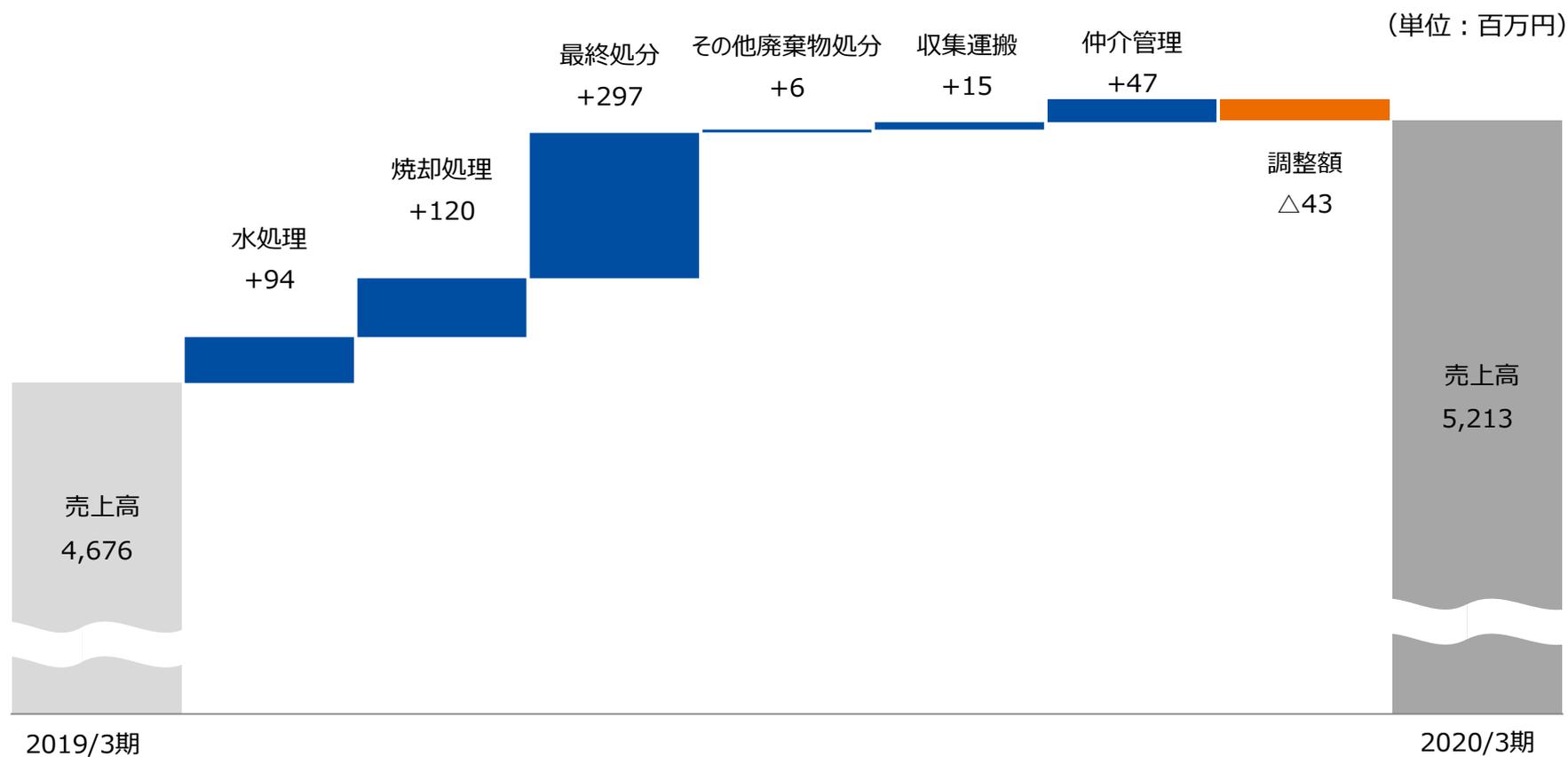
- 仲介管理
- 収集運搬
- 廃棄物処分



注:内部取引を含む

②-3 決算内容（売上高増減分析）

- 廃棄物処分事業の中で、最終処分が最も増加幅が大きく、次いで焼却処理、水処理となった
- 収集運搬については既存顧客からの受注が安定的に推移したことに加え、大型工事案件の受注が寄与し増収となった
- 仲介管理については大型工事案件の受注で協力会社への仲介が好調に推移したことにより増収となった

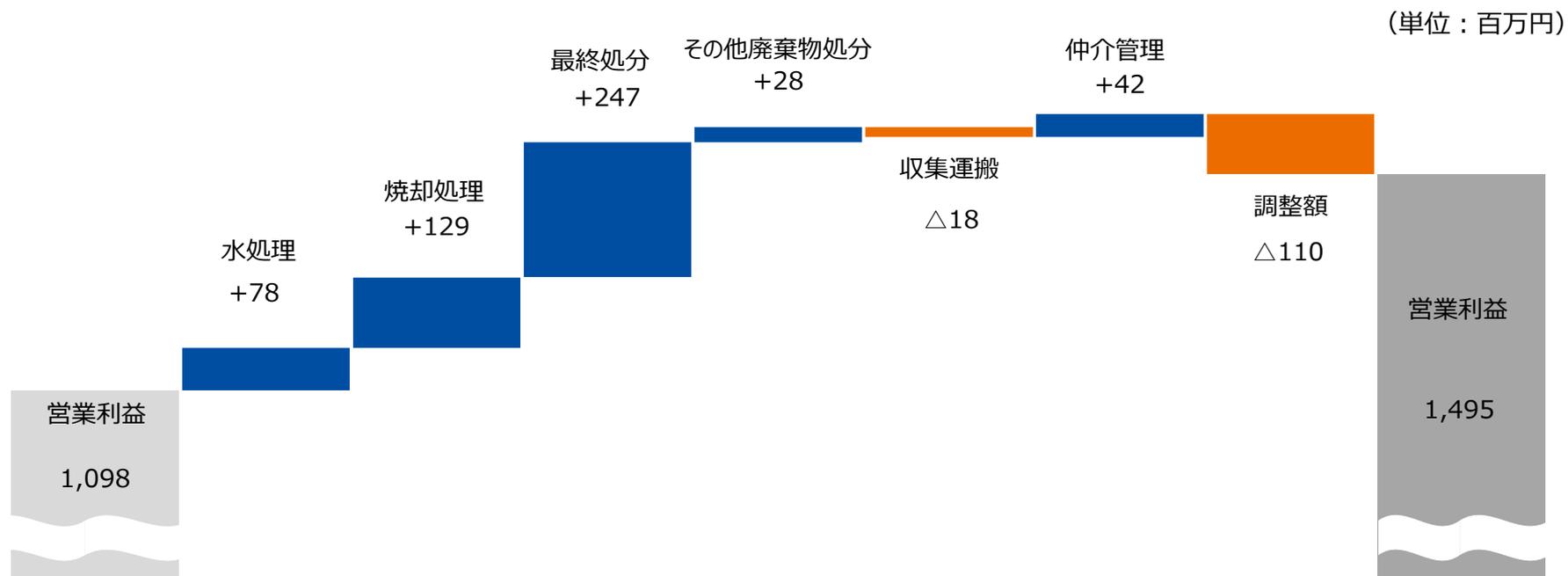


注1: 各カテゴリー別の数値は内部取引を含む

注2: 調整額はセグメント間取引消去の増減

②-4 決算内容（営業利益増減分析）

- 最終処分、焼却処理および水処理において大きな増益となった
- 収集運搬は一般廃棄物の収集運搬に係る新規車両購入により減価償却費が増加し減益となった



注1: 各カテゴリー別の数値は内部取引を含む

注2: 調整額はセグメント間取引消去と全社費用の増減

②-5 決算内容（業績予想との比較）

- 中国の廃プラスチック等の輸入禁止措置により国内で処理される廃棄物量が増加
- 台風19号などの影響で大量発生した災害廃棄物の受入処理が増加
- 旺盛な最終処分場の埋立需要に応えるために、搬入制限を一部緩和し受入量を拡大

(単位：百万円)

	2020/3期 予想	2020/3期		
		実績	構成比	予想比
売上高	5,084	5,213	100.0%	2.5%
売上原価	2,245	2,260	43.4%	0.7%
売上総利益	2,839	2,953	56.6%	4.0%
販売費・一般管理費	1,427	1,457	27.9%	2.1%
営業利益	1,412	1,495	28.7%	5.9%
営業外収益	19	29	—	—
営業外費用	85	78	—	—
経常利益	1,346	1,446	27.8%	7.4%
特別利益	0	0	—	—
特別損失	0	0	—	—
税引前当期純利益	1,346	1,446	27.8%	7.4%
法人税等	627	651	—	—
当期純利益 (注)	719	795	15.3%	10.6%

注：親会社株主に帰属する当期純利益

②-6 決算内容（貸借対照表）

- 流動資産の増加：新株の発行、自己株式の売却による現預金の増加等を要因としたもの
- 有形固定資産の増加：新規最終処分場建設による建設仮勘定増加等を要因としたもの
- 短期借入金が増加した一方で、当期純利益の計上による利益剰余金の増加、新株発行による資本金および資本準備金の増加により、自己資本比率は前年同期比12.2ポイント改善し36.8%となった
(単位：百万円)

2018/3期

2019/3期

2020/3期



総資産

負債純資産



総資産

負債純資産



総資産

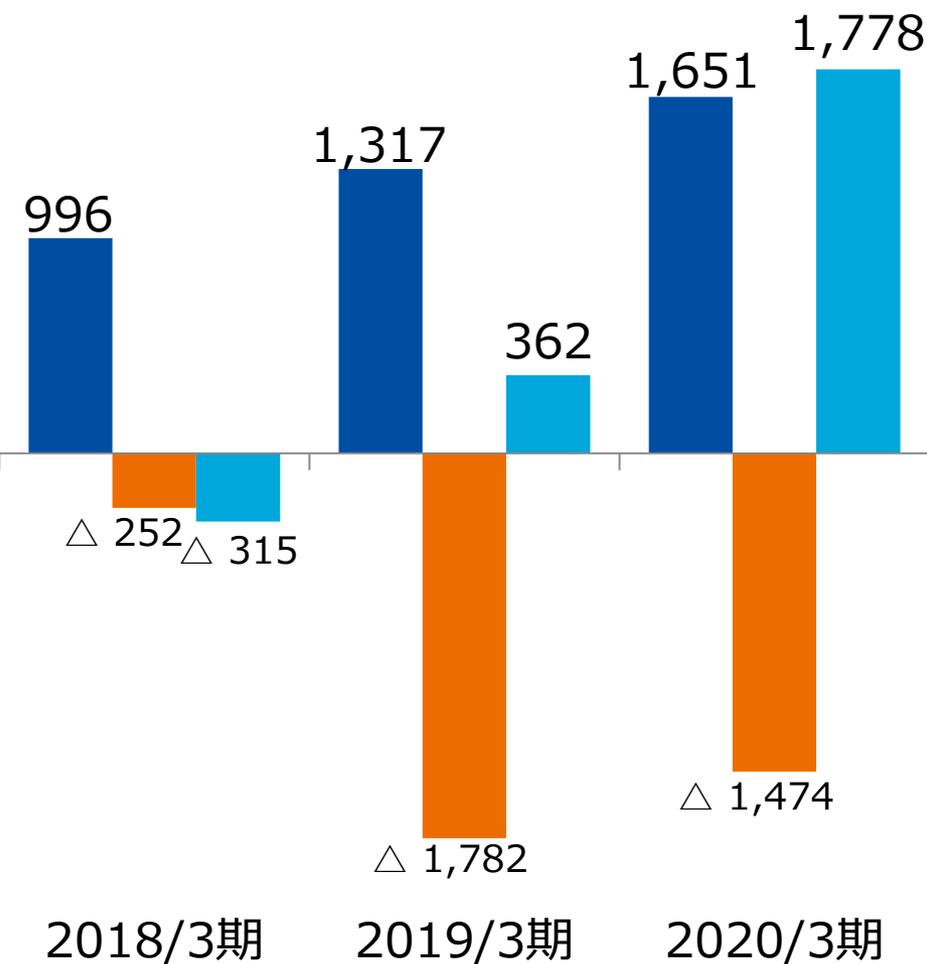
負債純資産

注：親会社株主に帰属する当期純利益

②-7 決算内容（キャッシュフロー計算書）

（単位：百万円）

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF



営業CF

税金等調整前当期純利益 +1,446百万円
 減価償却費 +428百万円
 のれん償却額 +250百万円
 法人税等の支払額 △574百万円 等

投資CF

有形固定資産の取得による支出 △1,445百万円 等

財務CF

短期借入金の純増額 +1,038百万円
 株式の発行による収入 +661百万円
 長期借入金の返済による支出 △666百万円 等

②-8 決算内容 (設備投資)

- 2020/3期の設備投資は、新規最終処分場に係る設備投資額が減少
- 2021/3期は新規最終処分場およびその他新規施設等への投資を行う予定

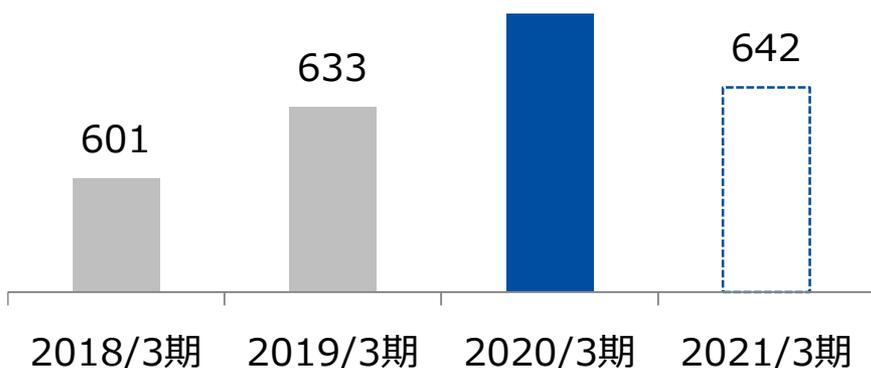
設備投資額

(単位：百万円)



減価償却費+のれん償却費

(単位：百万円)



主な設備投資計画

事業所	投資額 (百万円)	備考
新規最終処分場	1,184	2022年4月以降に稼働を開始予定 (同時に償却も開始予定)
新規焼却施設	1,000	土地代 (2021年12月までに取得予定)
遠州クリーンセンター	66	最終処分場設備
富士宮事業所	56	焼却設備
浜名湖クリーンセンター	47	最終処分場設備

① 当社グループの紹介

② 決算内容

③ 今後の見通し

④ トピックス

⑤ Appendix

③-1 今後の見通し（通期業績予想）

- 最終処分場は、引き続き単価の高い廃棄物の受注に注力するとともに、受託量の拡大を図る
- 中間処理施設においては更なる稼働率の向上を目指していくとともに、顧客単価の向上も施策とする
(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期		前期比
	実績	予想	構成比	
売上高	5,213	5,430	100.0%	4.2%
売上原価	2,260	2,364	43.5%	4.6%
売上総利益	2,953	3,066	56.5%	3.9%
販売費・一般管理費	1,457	1,487	27.4%	2.1%
営業利益	1,495	1,579	29.1%	5.6%
営業外収益	29	14	—	—
営業外費用	78	66	—	—
経常利益	1,446	1,527	28.1%	5.5%
特別利益	0	0	—	—
特別損失	0	0	—	—
税引前当期純利益	1,446	1,527	28.1%	5.5%
法人税等	651	680	—	—
当期純利益 (注)	795	846	15.6%	6.4%

注：親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

- 政府より緊急事態宣言が発令された状況下においても廃棄物処理は社会インフラとして必要不可欠であり、業務を継続することが求められている。業界としても景気に左右されにくい特徴がある。
- 当社グループの強みは、多数の処理施設や許可を保有していることにより、幅広い顧客基盤を築いている点である。売上は特定の廃棄物や特定の業種に依存せず、総合廃棄物処理企業として確立している。
- 当社業績への影響として、一部の業種が排出する産業廃棄物が減少したとしても、その他の業種に注力し営業活動を推進すること、および依然として高い最終処分の需要を取り込むことで売上・利益の確保に努める。

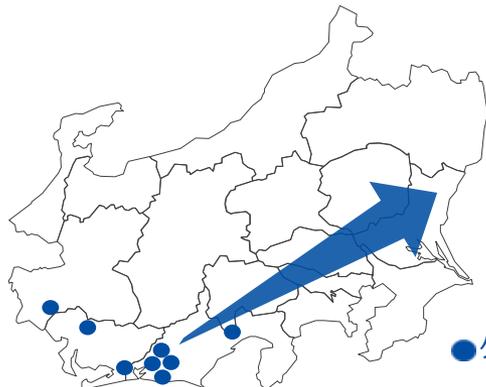


③-3 今後の見通し（中長期的な成長戦略）

- 関東方面への進出の第一歩として自社開発による焼却施設の設置を計画
- 現在、土地取得に向けた協議を進めており、調達資金を充当予定

自社開発のノウハウ

- ・地域住民・自治体との調整→許可取得→建設まで
プロセスにおいてノウハウを蓄積
- ・専門部署である開発事業部を設置



新規焼却施設

手取概算額合計上限	1,252百万円
土地取得見込額	1,000百万円
充当期	2021年12月まで

M&Aのノウハウ



子会社化

三晃

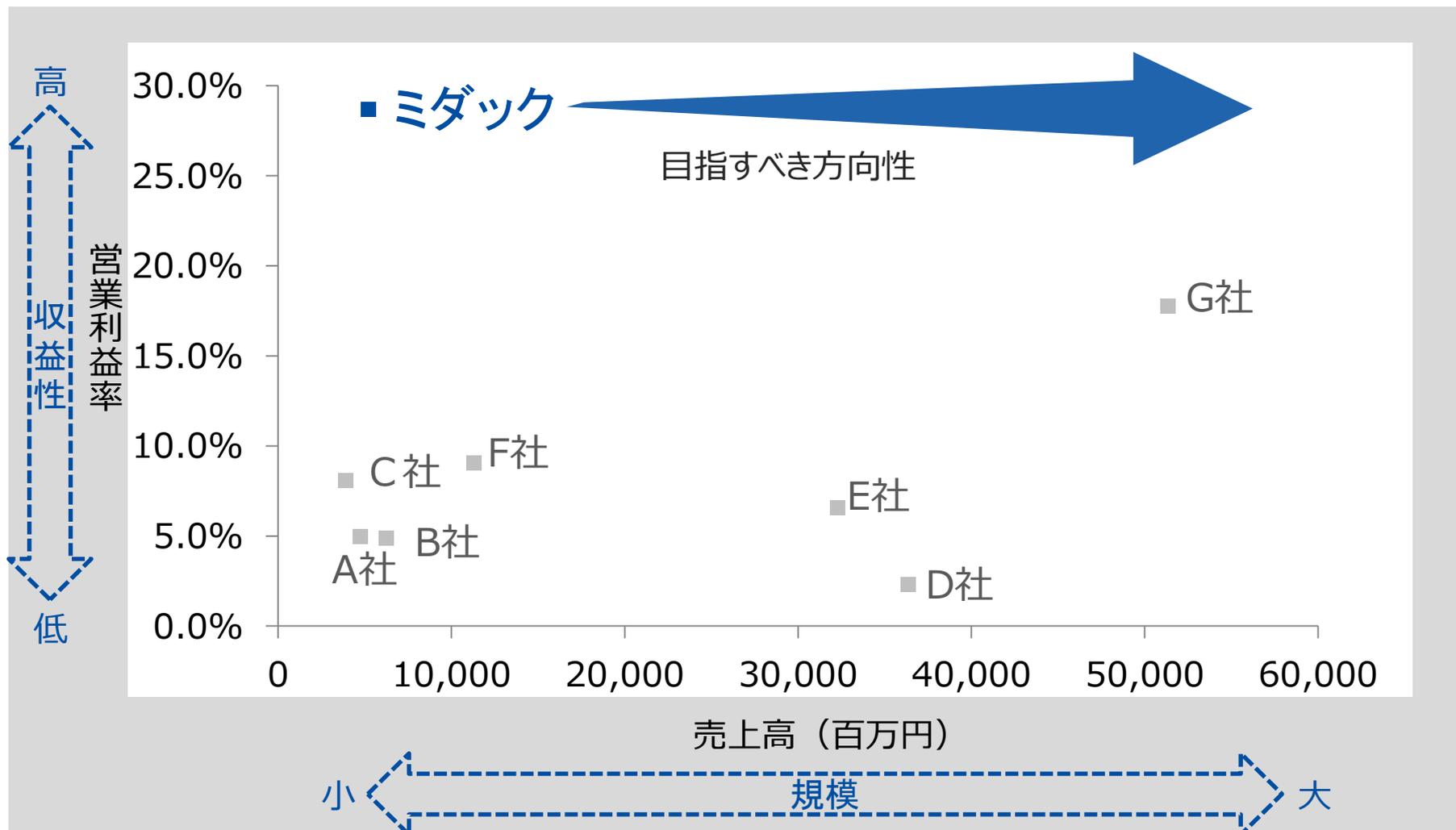
ミダックはまな

※取得予定不動産は現時点において決定しておりませんので、土地取得額は見込額となっております

※土地取得金額が確定した後、残額が生じた場合は当該残額を2021年12月までに運転資金に充当し、不足が生じた場合は自己資金を充当する予定であります

③-4 今後の見通し（同業他社比と目指す方向性）

- 売上高は5,213百万円で規模の面では同業他社に劣るものの、営業利益率は28.7%と高い収益性を維持
- 今後は関東方面への進出を図り、規模の拡大を目指していく



① 当社グループの紹介

② 決算内容

③ 今後の見通し

④ **トピックス**

⑤ Appendix

④-1 トピックス（市場第一部への上場）

- 2019年12月24日に東京証券取引所および名古屋証券取引所の市場第一部へ上場
- 信用力・知名度の向上が期待できるとともに、業界全体のイメージアップを図る



- 静岡県浜松市北区に新規管理型最終処分場の設置を計画
- 2022年4月の開業に向け、工事は着々と進行中

施設概要

施設名称	奥山の杜クリーンセンター
埋立容量	約3,125,000m ³
稼働開始予定	2022年4月以降
埋立予定期間	約30年
投資予定総額	約87億円



既存処分場との規模の比較

既存の管理型最終処分場に比べ、約7～8倍の規模を確保

新規管理型
最終処分場
3,125,000m³
(東京ドーム約2.5杯分)

遠州
クリーンセンター
410,575m³

① 当社グループの紹介

② 決算内容

③ 今後の見通し

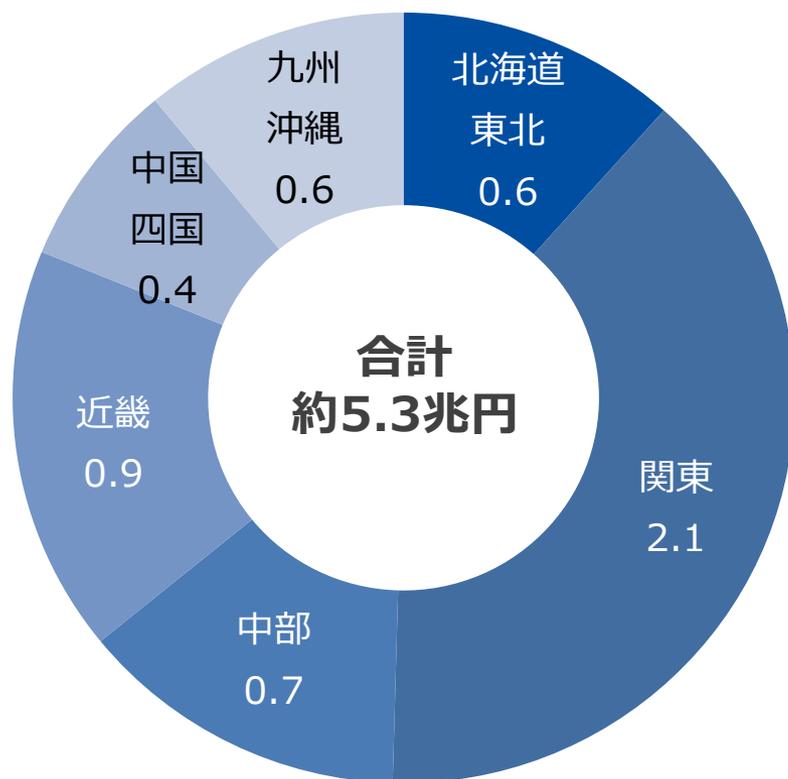
④ トピックス

⑤ **Appendix**

⑤-1 業界環境（市場規模）

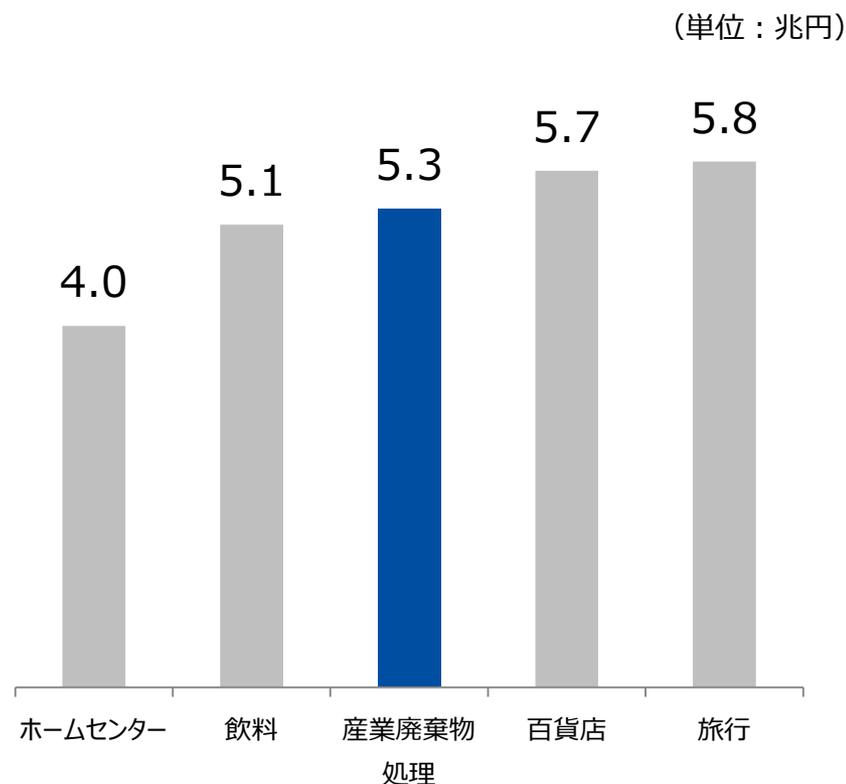
- 国内における産業廃棄物処理業界の推定市場規模は、約5.3兆円
- 「飲料」業界や「旅行」業界と同程度の市場規模

産業廃棄物処理業界の推定市場規模



出典：環境省「平成23年度産業廃棄物処理業実態調査業務報告書」

他業界との市場規模の比較



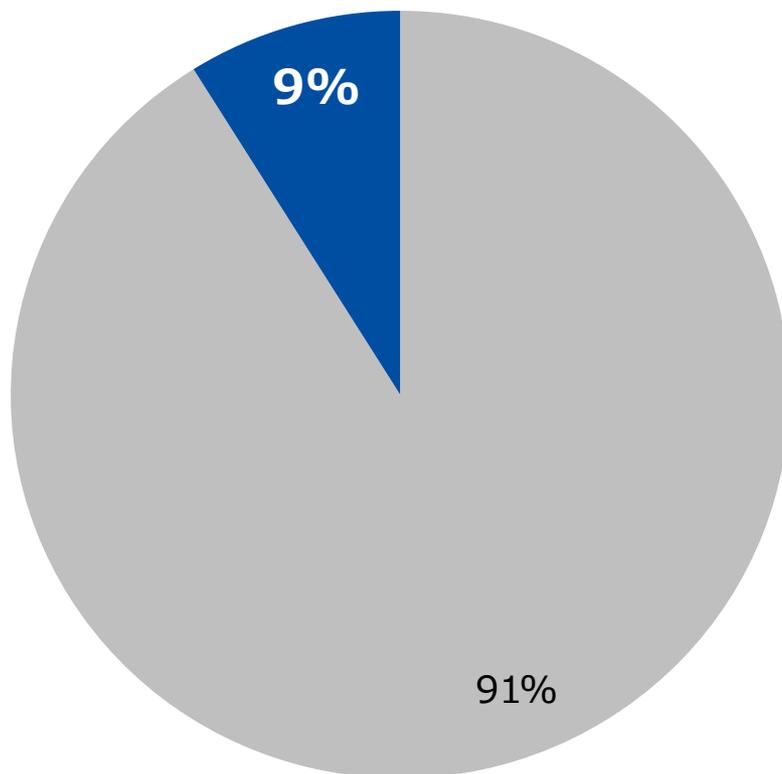
出典：一般社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会「年間総売上高とホームセンター数の推移（推計値）」（ホームセンター）、榎矢野経済研究所「2019年版 飲料市場の現状と展望」（飲料）、環境省「平成23年度産業廃棄物処理業実態調査業務報告書」（産業廃棄物処理）、日本百貨店協会「令和1年12月全国百貨店売上高概況」（百貨店）、公益財団法人日本交通公社「旅行年報2019」（旅行）

⑤-2 業界環境（事業者数の割合）

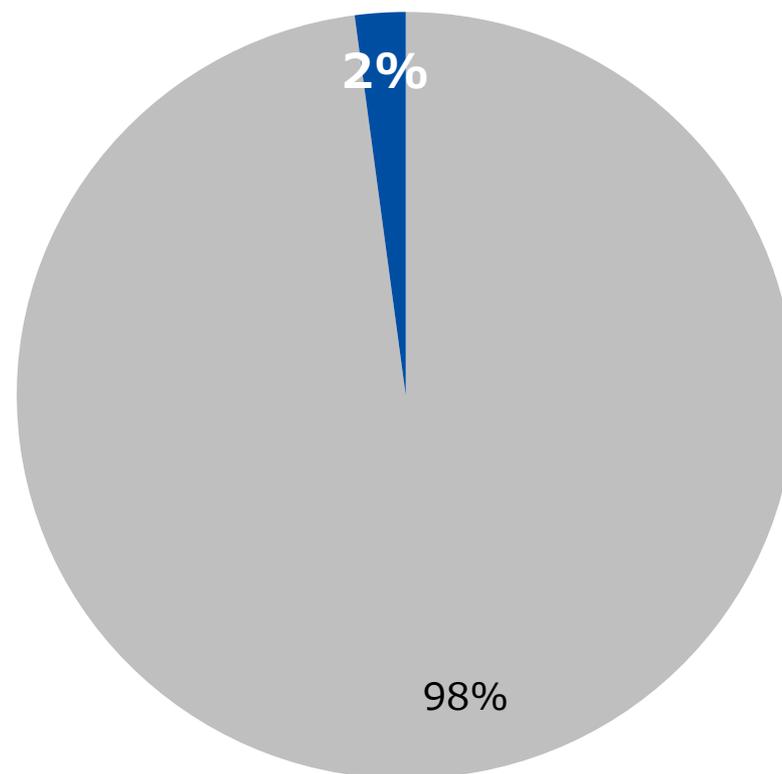
- 廃棄物処理業界において、主業者のうち、売上高10億円以上の事業者の割合は僅か約9%
- 従業員数が100人以上の事業者の割合も約2%であり、中小零細業者が多数を占める業界

注：産業廃棄物処理業の許可を保有している事業者のうち、産業廃棄物処理業を主業（売上高の割合が50%以上）とする事業者

— 売上高10億円以上の主業者が占める割合 — — 従業員100人以上の主業者が占める割合 —



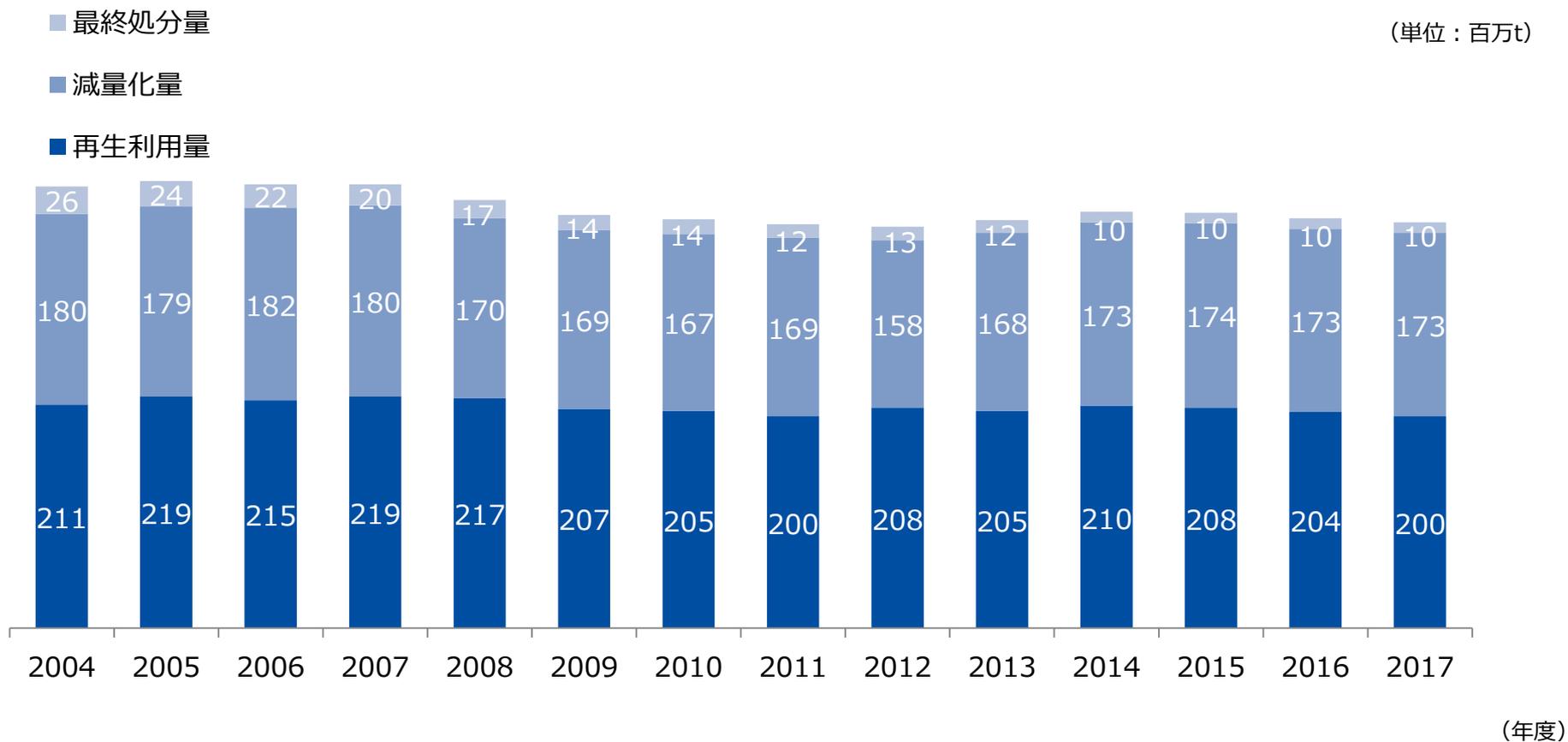
出展：環境省「平成23年度産業廃棄物処理業実態調査業務報告書」、産業廃棄物処理業の振興方策に関する検討会「産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言」



出展：環境省「平成23年度産業廃棄物処理業実態調査業務報告書」、産業廃棄物処理業の振興方策に関する検討会「産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言」

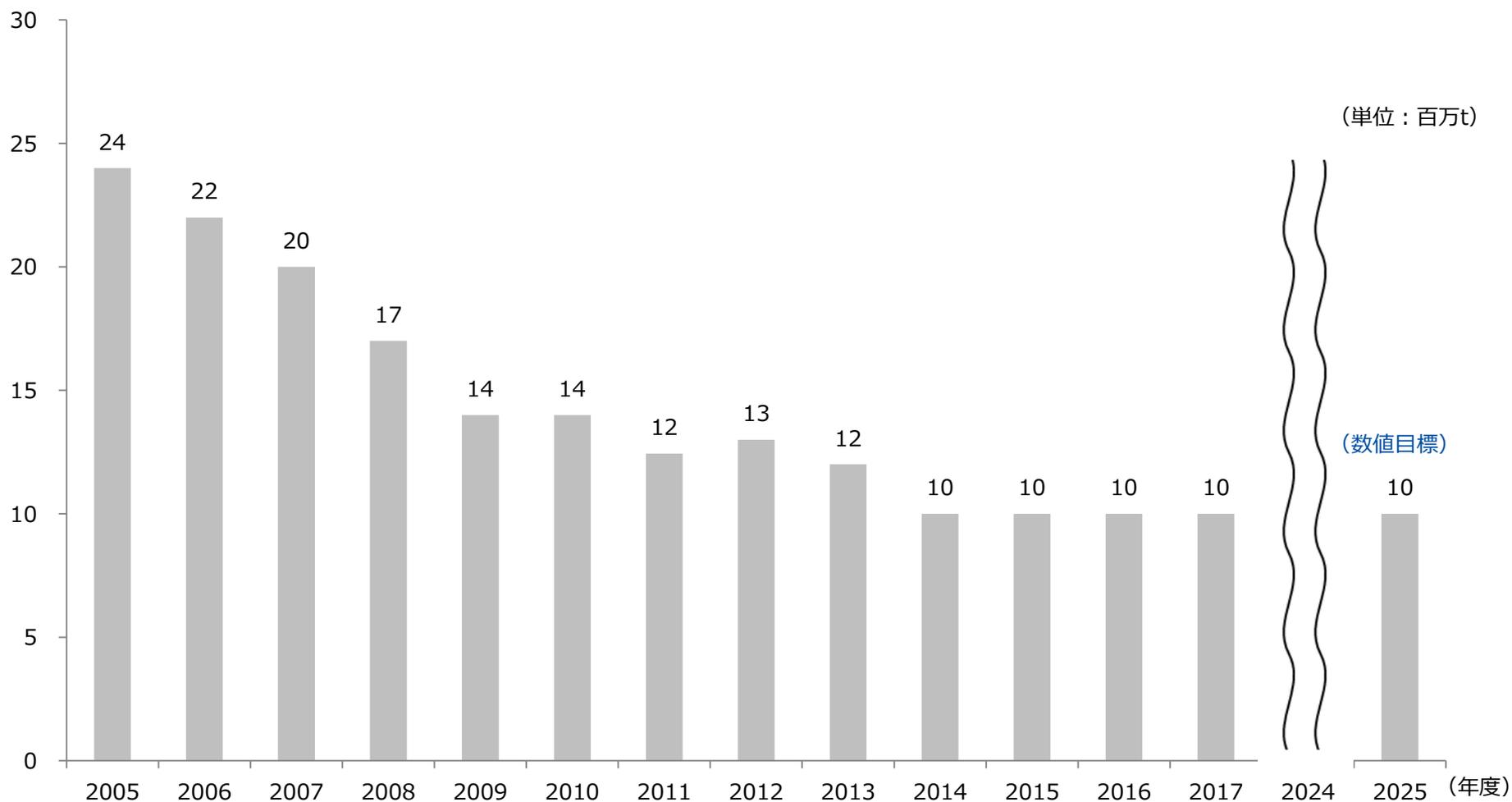
⑤-3 業界環境（産業廃棄物の総排出量）

- 産業廃棄物の総排出量は2017年度で383百万トンであり、概ね横ばいで推移
- 今後においても、一定の廃棄物の排出が継続するものと予測



⑤-4 業界環境（最終処分量の推移）

- 循環型社会形成推進基本計画では2025年度の最終処分量の数値目標を約10百万トンと設定
- 最終処分は今後も不可避免的に発生し、最終処分場は社会に必要不可欠な存在



出典：環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成29年度実績）」、環境省「循環型社会形成推進基本計画（平成30年6月）」

- 社員と家族がいつまでも安心して働くことができるよう、より良い職場環境を確保

プラチナくるみマークの認定取得

2015年8月に静岡県企業の2番目（産業廃棄物処理業界では初）の**プラチナくるみマーク**を取得しました。



「プラチナくるみ認定制度」は、平成27年4月1日施行の改正次世代法により創設され、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定（くるみ認定）を受けた企業のうち、より高い水準の取組みを行った企業が認定を受けられる制度です。

週に3日のノー残業 <月・水・金>

ミダックでは週に3日のノー残業デーを実施しています。

年次有給休暇の個別指定方式

従来から有給休暇の計画付与を実施していましたが、社員の都合や希望に合わせた休みを取得できるよう個別指定方式を採用。

ワークライフバランス企業の認定取得

2017年2月に**浜松市ワークライフバランス等推進事業所**を認定取得しました。



働きやすい職場環境づくりや女性活躍の推進を図るため、仕事と家庭（子育てや介護）、地域活動等との両立支援などのワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所を認証する制度です。

育児・介護を支援

ミダックでは育児や介護による休業について、その一部を有給化することにより、育児・介護を支援しています。

女性従業員支援

ミダックでは働く女性を応援するセミナーや勉強会を定期的実施することによって、女性従業員がより働き易くなるよう職場の環境づくりに積極的に取り組んでいます。

⑤-7 企業価値向上に向けての取組

■ 地域社会との良好な関係を構築するため、また環境保全のため、当社グループは精力的に活動

ウェルカメクリーン作戦【5月】

毎年5月に浜松市指定天然記念物であるアカウミガメが安全に産卵できるよう遠州灘海岸清掃活動を行っています。



環境教育【10月】

毎年秋ごろに有玉小学校（浜松市）を訪問し、ゴミに関する知識や分別・減量の大切さを楽しく学べるよう環境授業を行っています。



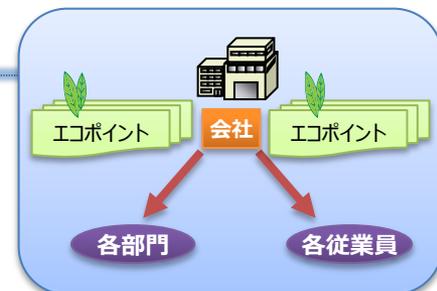
富士山エコツアー【8月】

毎年8月に浜松市剣道連盟の子供たちと共に、富士山のボランティア清掃活動を行っています。また24時間テレビ「富士山をきれいにするプロジェクト」や社員有志での富士登山清掃活動なども行っています。



エコポイント付与制度

各部門、各従業員の環境負荷低減活動に対してエコポイントを付与し現金として還元することにより、社員の積極的な環境活動を促進しています。



ミダック祭【9月】

毎年9月に地域住民の皆さんや従業員とその家族などを招いてミダック祭を開催しています。



こども食堂支援【9月】

ミダック祭のブースでこども食堂用の食料品を受入。食事支援とフードロスの両面で社会貢献をしました。



新潟県中越沖地震【07年7月】

新潟県中越沖地震での災害ゴミ処理支援を行いました。支援期間：07年8月31日～07年9月5日／支援範囲：柏崎市



- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません



水・大地・空気を未来につなぐ

経営理念

ミダックは、水と大地と空気そして人、すべてが共に栄えるかけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、その前線を担う環境創造集団としての社会的責任を自覚して、地球にやさしい廃棄物処理を追求してまいります。

株式会社ミダック